

太宰府市副市長

しみず けいすけ
清水 圭輔



太宰府市内には多くの有形無形の文化遺産が引き継がれています。

新元号「令和」の典拠である万葉集がなければ、「令和」は誕生しなかったかもしれませんし、和歌の文化そのものが違ったものになっていたかもしれません。文化とは、人類がより良く生きるための生活の知恵の集積で、それを未来へ継承するものが文化遺産、その中で行政機関が責任をもって継承するものが文化財とされています。

私達の身近には大宰府跡、水城跡等の史跡や太宰府天満宮、竈門神社、観世音寺、戒壇院などの神社仏閣、さらに万葉世界の原風景を歌とともに伝える万葉歌碑等、全国的に誇り得る有形文化遺産があり、訪れる方々を和ませていると確信します。

願わくば市民の皆さんが、太宰府の文化を理解し、愛し、過去と未来をつなぐ「文化継承者」になりませんか。必ずや太宰府に住んでいることが誇りとなり、楽しみ、喜びが付加されるに間違いありません。

先ずはこの秋、太宰府万葉歌碑めぐりは如何でしょう。パンフレットは市役所に準備しています。

特集

道下美里選手が金メダルを獲得しました！
..... 2

私のだざいふ、市政ニュース、トピックス
..... 3~5

9月議会楠田大蔵市長冒頭あいさつ
..... 6~7

証明書のコンビニ交付ははじめます！
..... 8~9

「オクトーバー・ランアンドウォーク」
“全国自治体対抗戦”参加のお知らせ
..... 10~11

新型コロナウイルスワクチン接種について
..... 12

市からのお知らせ 13~21

連載 22~31

なんでも情報コーナー 32~41

太宰府の文化財 42

市政ニュース

市民の安心安全 8月の豪雨対応

8月11日から19日にかけて、梅雨時期に匹敵する前線の活発な活動により、本市でも大雨が断続的に降り続けました。降り始めからの総雨量は実に815.5mmに達し、これは8月平年降水量の5.2倍に相当する雨量でした。

災害対策本部にて幾度となく情報収集、分析を重ね、土砂災害警戒地域と浸水想定地域の住民へ避難情報改定後初めてとなる避難指示も発出しました。併せて、市内21カ所に避難所を開設し、早期の避難を呼びかけました。

スポットクーラーやワンタッチテント、パルスオキシメーターなどを駆使し、コロナ対策を万全にした避難所には、延べ75人が避難をされ、今回から開設したペット同伴が可能な松川体育館に避難される人もいました。

28回にも及ぶ会議では、常に状況の把握と気象情報の分析を行い、職員、自衛隊、消防署、消防団は昼夜にわたり警戒業務に従事しました。

降雨のピーク時には道路の冠水や法面の一部崩落、土砂の流出が発生しましたが、救助事案や家屋などへの被害はありませんでした。

本市ではこれからも、市民の安心安全を第一に、いかなる災害発生をも想定しながら、職員一丸となって迅速かつ的確な対応に努めます。



ペットや市民に語りかける楠田市長



災害対策本部会議の様子

市政ニュース

市民サービスの向上

太宰府市水道料金等審議会答申

8月10日(火)、第5回太宰府市水道料金等審議会(遠藤真紀会長)が開催され、これまでの慎重審議の結果、水道料金については現行料金を据え置き、下水道使用料については令和4年4月1日使用分より平均改定率7.58%減で改定するという答申が楠田市長に出されました。

答申のとおり下水道使用料の改定を実施した場合は、平成26年4月以来実に8年ぶりとなり、令和4年度から令和7年度の4年間で総額約3億6千万円の値下げとなります。コロナ禍にさいなまれる市民生活の一助となれば幸いです。



遠藤会長より答申を受ける楠田市長

先進教育の推進 市内中学校オンライン授業を取り入れ学校再開

8月31日に行われた太宰府東中学校でのオンライン授業の様子を楠田市長、樋田教育長が視察しました。

先生方は思い思いに工夫をされ、子どもたちが登校しなくとも学びを保証できるよう必死に取り組んでおられました。

教室に集まれば一瞬にしてわかる出欠状況や子どもたちの顔色、理解度合いなどが見えにくいことや、Wi-Fiの貸出などを行ってもなお課題の残る通信環境により双方向のやり取りはなかなかスムーズには行きません。

そのような状況でも、度重なる変異株の流行により学校に通うことで子どもたちが感染するリスクは今や低くはありません。

また、コロナ禍に加え不登校などの状況も考慮すれば、学校で学ぶこととオンラインで学ぶことを選択できる環境作りが大切です。

いつの日か世界中の人たちとこうして繋がり共に高め合う未来のためにも、ぜひ今の逆境をプラスに活かして欲しいと願います。



オンライン授業の様子を視察する楠田市長、樋田教育長

教育・子育ての充実 太宰府南小学校の絵画が修復されました！

太宰府南小学校開校時から子どもたちを見守ってきた西島伊三雄さんの絵画の大作が無事修復され、8月25日(水)の始業の日に合わせてお披露目の会が開催されました。

この修復は、開校当時PTA役員として絵画の設置にあたった本間七郎さんが、同窓生にもあたる楠田市長宛に修復の要望を手紙で行い、私財も投げつつ為されたもので、当時の輝きを見事に再現するものとなりました。

式典で本間さんは「修復により当時の絵が見事によみがえりました。これからもこの場所で子どもたちが巣立っていくのを見守って欲しいと願っています。」とあいさつしました。

子どもたちは、各教室で放送された式典に参加した後、修復を終えた絵を鑑賞。修復前との違いに驚きながらも、その様子を見ていた本間さんに感謝の気持ちを伝えていました。



お披露目の会の様子



西島伊三雄作「太宰府町高雄より宝満山を望む」(修復後)